

(再評価)

資料 3-2-②

関東地方整備局
事業評価監視委員会
(平成24年度 第7回)

一般国道4号 春日部古河バイパス

平成24年12月26日
国土交通省 関東地方整備局

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道4号	春日部古河バイパス	L = 21.5 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
33,200~56,900	4~6	関東地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	232億円	195億円	428億円
うち残事業分	168億円	159億円	326億円
基準年における 現在価値 (C)	218億円	66億円	284億円
うち残事業分	148億円	54億円	202億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成31年度			
単年便益 (初年便益)	87億円	2.2億円	1.6億円	91億円
基準年における 現在価値 (B)	1,383億円	37億円	24億円	1,444億円
うち残事業分	1,045億円	20億円	14億円	1,079億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	5.1
経済的純現在価値（事業全体）	1,160億円
経済的内部収益率（事業全体）	16.7%
費用便益比（残事業）	5.3
経済的純現在価値（残事業）	877億円
経済的内部収益率（残事業）	21.4%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	33,200～ 56,900(台/日)	±10%	3.4～9.2
事業費	232億円	±10%	4.8～5.4
事業期間	13年	±2年	4.7～5.3

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	33,200～ 56,900(台/日)	±10%	3.0～9.7
事業費	168億円	±10%	5.0～5.8
事業期間	6年	±2年	5.0～5.5

交通状況の変化

事業名：春日部古河バイパス（事業全体）

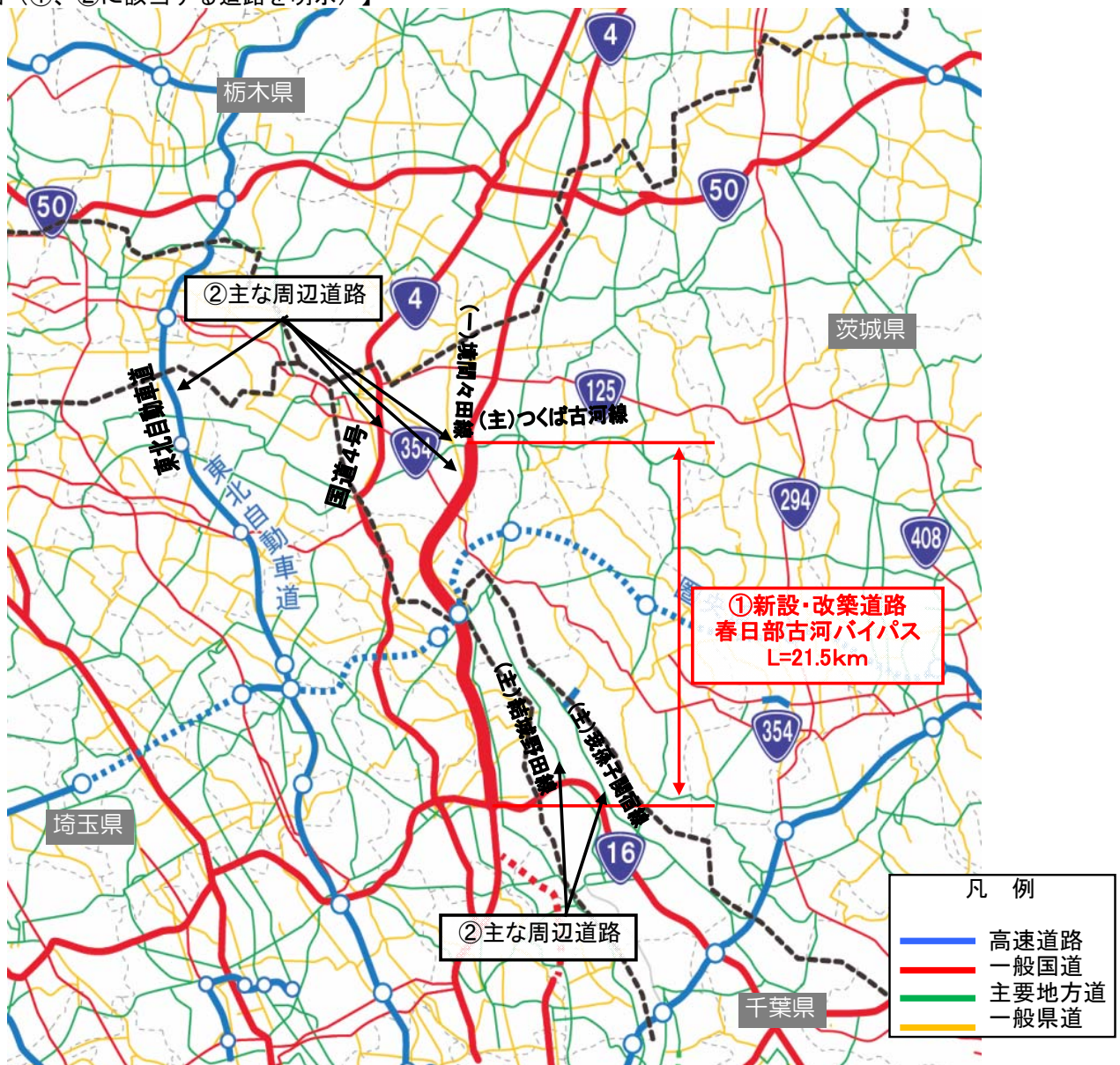
（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 21.5km	交通量	[台/日]	22,100	43,800	
	走行時間	[分]	28	23	
	走行時間費用	[億円/年]	126.30	200.73	
②主な周辺道路	一般国道 4号: 37.4km	交通量	[台/日]	23,300	22,100
		走行時間	[分]	58	57
		走行時間費用	[億円/年]	261.36	243.78
	東北自動車道: 51.5km	交通量	[台/日]	87,500	87,100
		走行時間	[分]	47	46
		走行時間費用	[億円/年]	813.60	788.50
	(主)結城 野田線: 21.8km	交通量	[台/日]	10,700	9,300
		走行時間	[分]	33	32
		走行時間費用	[億円/年]	66.87	56.37
	(主)我孫 子関宿 線: 6.6km	交通量	[台/日]	14,200	13,000
		走行時間	[分]	13	12
		走行時間費用	[億円/年]	34.42	31.06
	(主)つく ば古河 線: 5.2km	交通量	[台/日]	27,300	25,400
		走行時間	[分]	11	10
		走行時間費用	[億円/年]	60.80	54.24
	(一)境 間々田 線: 4.4km	交通量	[台/日]	13,000	10,200
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	16.06	11.17
③その他道路合計 :4,768.7km	走行時間費用	[億円/年]	28,553.04	28,462.07	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:4,917.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	29,932.44	29,847.93	84.51

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：春日部古河バイパス（事業全体）

【 図面（①、②に該当する道路を明示） 】



交通状況の変化

事業名：春日部古河バイパス（残事業）

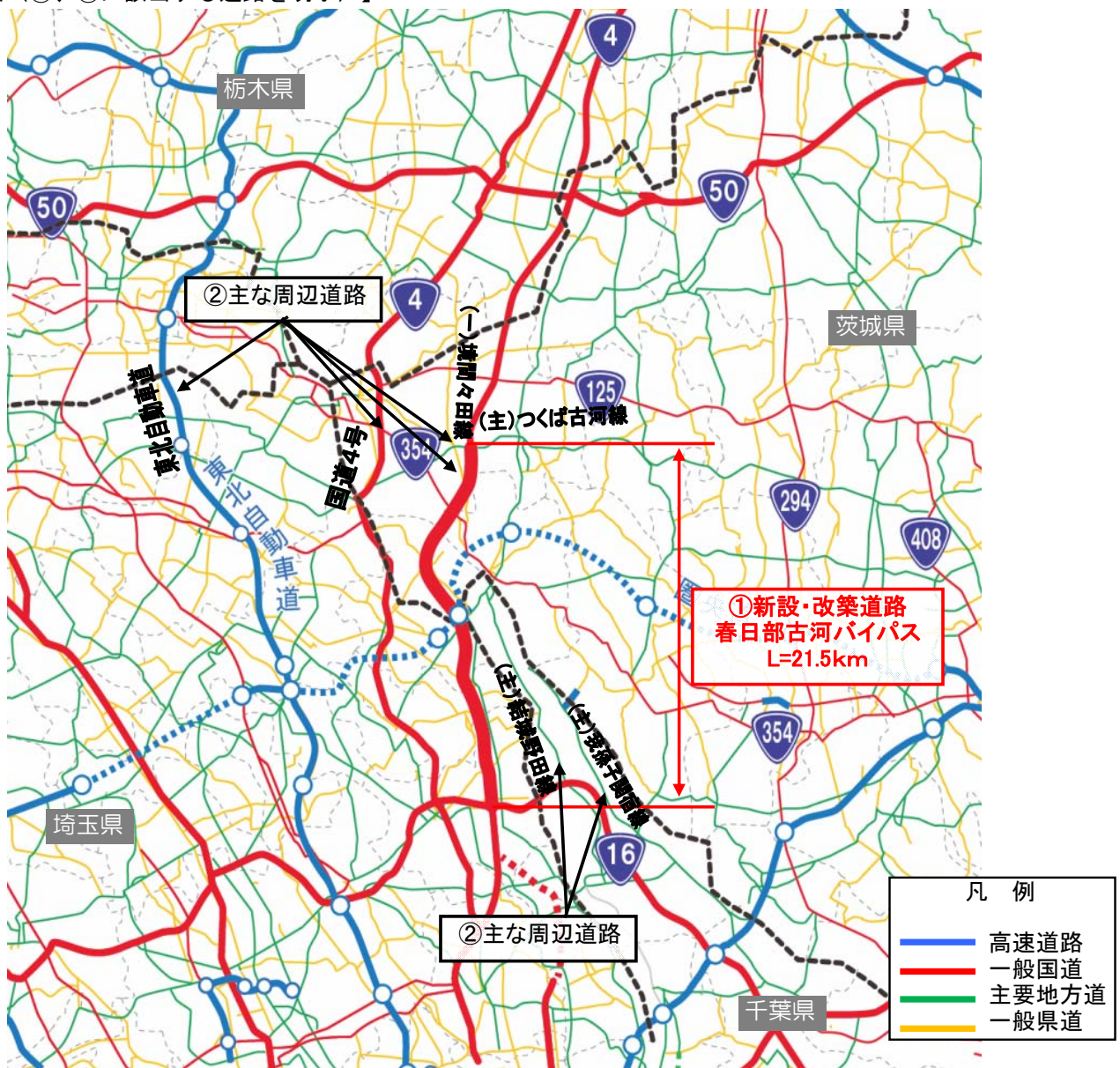
（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 21.5km	交通量	[台/日]	23,400	43,800	
	走行時間	[分]	27	23	
	走行時間費用	[億円/年]	126.23	200.73	
②主な周辺道路	一般国道 4号: 37.4km	交通量	[台/日]	23,200	22,100
		走行時間	[分]	58	57
		走行時間費用	[億円/年]	261.11	243.78
	東北自動車道: 51.5km	交通量	[台/日]	87,400	87,100
		走行時間	[分]	47	46
		走行時間費用	[億円/年]	808.90	788.50
	(主)結城 野田線: 21.8km	交通量	[台/日]	10,500	9,300
		走行時間	[分]	33	32
		走行時間費用	[億円/年]	65.72	56.37
	(主)我孫 子関宿 線: 6.6km	交通量	[台/日]	13,600	13,000
		走行時間	[分]	13	12
		走行時間費用	[億円/年]	32.56	31.06
	(主)つく ば古河 線: 5.2km	交通量	[台/日]	27,000	25,400
		走行時間	[分]	11	10
		走行時間費用	[億円/年]	60.27	54.24
	(一)境 間々田 線: 4.4km	交通量	[台/日]	12,300	10,200
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	15.16	11.17
③その他道路合計 : 4,768.7km	走行時間費用	[億円/年]	28,542.29	28,462.07	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 4,917.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	29,912.24	29,847.93	64.31

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：春日部古河バイパス（残事業）

【 図面（①、②に該当する道路を明示）】



費用便益分析の条件

事業名：春日部古河バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成24年度	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()		<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	関東地整における既存路線の実績を参考に設定	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:春日部古河バイパス(事業全体)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.134	10.3	1.38
0.243	11.2	2.72

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-13年目	H 18	1.2653	98.7	4.87	5.85		
-12年目	H 19	1.2167	97.6	7.70	9.00		
-11年目	H 20	1.1699	96.8	8.12	9.21		
-10年目	H 21	1.1249	95.6	7.32	8.08		
-9年目	H 22	1.0816	93.8	12.35	13.36		
-8年目	H 23	1.0400	93.8	10.50	10.92		
-7年目	H 24	1.0000	93.8	13.90	13.90		
-6年目	H 25	0.9615	93.8	38.25	36.78		
-5年目	H 26	0.9246	93.8	26.50	24.50		
-4年目	H 27	0.8890	93.8	22.10	19.64		
-3年目	H 28	0.8548	93.8	34.88	29.81		
-2年目	H 29	0.8219	93.8	24.64	20.25		
-1年目	H 30	0.7903	93.8	21.27	16.81		
供用開始年度	H 31	0.7599	93.8			3.90	2.97
1年目	H 32	0.7307	93.8			3.90	2.85
2年目	H 33	0.7026	93.8			3.90	2.74
3年目	H 34	0.6756	93.8			3.90	2.64
4年目	H 35	0.6496	93.8			3.90	2.54
5年目	H 36	0.6246	93.8			3.90	2.44
6年目	H 37	0.6006	93.8			3.90	2.35
7年目	H 38	0.5775	93.8			3.90	2.25
8年目	H 39	0.5553	93.8			3.90	2.17
9年目	H 40	0.5339	93.8			3.90	2.08
10年目	H 41	0.5134	93.8			3.90	2.00
11年目	H 42	0.4936	93.8			3.90	1.93
12年目	H 43	0.4746	93.8			3.90	1.85
13年目	H 44	0.4564	93.8			3.90	1.78
14年目	H 45	0.4388	93.8			3.90	1.71
15年目	H 46	0.4220	93.8			3.90	1.65
16年目	H 47	0.4057	93.8			3.90	1.58
17年目	H 48	0.3901	93.8			3.90	1.52
18年目	H 49	0.3751	93.8			3.90	1.46
19年目	H 50	0.3607	93.8			3.90	1.41
20年目	H 51	0.3468	93.8			3.90	1.35
21年目	H 52	0.3335	93.8			3.90	1.30
22年目	H 53	0.3207	93.8			3.90	1.25
23年目	H 54	0.3083	93.8			3.90	1.20
24年目	H 55	0.2965	93.8			3.90	1.16
25年目	H 56	0.2851	93.8			3.90	1.11
26年目	H 57	0.2741	93.8			3.90	1.07
27年目	H 58	0.2636	93.8			3.90	1.03
28年目	H 59	0.2534	93.8			3.90	0.99
29年目	H 60	0.2437	93.8			3.90	0.95
30年目	H 61	0.2343	93.8			3.90	0.91
31年目	H 62	0.2253	93.8			3.90	0.88
32年目	H 63	0.2166	93.8			3.90	0.85
33年目	H 64	0.2083	93.8			3.90	0.81
34年目	H 65	0.2003	93.8			3.90	0.78
35年目	H 66	0.1926	93.8			3.90	0.75
36年目	H 67	0.1852	93.8			3.90	0.72
37年目	H 68	0.1780	93.8			3.90	0.70
38年目	H 69	0.1712	93.8			3.90	0.67
39年目	H 70	0.1646	93.8			3.90	0.64
40年目	H 71	0.1583	93.8			3.90	0.62
41年目	H 72	0.1522	93.8			3.90	0.59
42年目	H 73	0.1463	93.8			3.90	0.57
43年目	H 74	0.1407	93.8			3.90	0.55
44年目	H 75	0.1353	93.8			3.90	0.53
45年目	H 76	0.1301	93.8			3.90	0.51
46年目	H 77	0.1251	93.8			3.90	0.49
47年目	H 78	0.1203	93.8			3.90	0.47
48年目	H 79	0.1157	93.8			3.90	0.45
49年目	H 80	0.1112	93.8	0.00	0.00	3.90	0.43
合計				232.38	218.11	195.24	66.29
単純事業費計				232.38		195.24	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:春日部古河バイパス(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.233	3.1	0.71
0.362	7.2	2.62

年次	年度	割引率	GDP デフレ率	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-6年目	H 25	0.9615	93.8	38.25	36.78		
-5年目	H 26	0.9246	93.8	26.50	24.50		
-4年目	H 27	0.8890	93.8	22.10	19.64		
-3年目	H 28	0.8548	93.8	34.88	29.81		
-2年目	H 29	0.8219	93.8	24.64	20.25		
-1年目	H 30	0.7903	93.8	21.27	16.81		
供用開始年度	H 31	0.7599	93.8			3.17	2.41
1年目	H 32	0.7307	93.8			3.17	2.32
2年目	H 33	0.7026	93.8			3.17	2.23
3年目	H 34	0.6756	93.8			3.17	2.14
4年目	H 35	0.6496	93.8			3.17	2.06
5年目	H 36	0.6246	93.8			3.17	1.98
6年目	H 37	0.6006	93.8			3.17	1.90
7年目	H 38	0.5775	93.8			3.17	1.83
8年目	H 39	0.5553	93.8			3.17	1.76
9年目	H 40	0.5339	93.8			3.17	1.69
10年目	H 41	0.5134	93.8			3.17	1.63
11年目	H 42	0.4936	93.8			3.17	1.57
12年目	H 43	0.4746	93.8			3.17	1.51
13年目	H 44	0.4564	93.8			3.17	1.45
14年目	H 45	0.4388	93.8			3.17	1.39
15年目	H 46	0.4220	93.8			3.17	1.34
16年目	H 47	0.4057	93.8			3.17	1.29
17年目	H 48	0.3901	93.8			3.17	1.24
18年目	H 49	0.3751	93.8			3.17	1.19
19年目	H 50	0.3607	93.8			3.17	1.14
20年目	H 51	0.3468	93.8			3.17	1.10
21年目	H 52	0.3335	93.8			3.17	1.06
22年目	H 53	0.3207	93.8			3.17	1.02
23年目	H 54	0.3083	93.8			3.17	0.98
24年目	H 55	0.2965	93.8			3.17	0.94
25年目	H 56	0.2851	93.8			3.17	0.90
26年目	H 57	0.2741	93.8			3.17	0.87
27年目	H 58	0.2636	93.8			3.17	0.84
28年目	H 59	0.2534	93.8			3.17	0.80
29年目	H 60	0.2437	93.8			3.17	0.77
30年目	H 61	0.2343	93.8			3.17	0.74
31年目	H 62	0.2253	93.8			3.17	0.71
32年目	H 63	0.2166	93.8			3.17	0.69
33年目	H 64	0.2083	93.8			3.17	0.66
34年目	H 65	0.2003	93.8			3.17	0.64
35年目	H 66	0.1926	93.8			3.17	0.61
36年目	H 67	0.1852	93.8			3.17	0.59
37年目	H 68	0.1780	93.8			3.17	0.56
38年目	H 69	0.1712	93.8			3.17	0.54
39年目	H 70	0.1646	93.8			3.17	0.52
40年目	H 71	0.1583	93.8			3.17	0.50
41年目	H 72	0.1522	93.8			3.17	0.48
42年目	H 73	0.1463	93.8			3.17	0.46
43年目	H 74	0.1407	93.8			3.17	0.45
44年目	H 75	0.1353	93.8			3.17	0.43
45年目	H 76	0.1301	93.8			3.17	0.41
46年目	H 77	0.1251	93.8			3.17	0.40
47年目	H 78	0.1203	93.8			3.17	0.38
48年目	H 79	0.1157	93.8			3.17	0.37
49年目	H 80	0.1112	93.8	0.00	0.00	3.17	0.35
合計				167.62	147.79	158.57	53.84
単純事業費計				167.62		158.57	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道4号	春日部古河バイパス	4～6	21.5km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					22,324		
	改良費					4,032	
		土工	m3	534,440	1,164		
		軟弱地盤改良工	m3	4,297	641		
		法面工	m2	47,129	102		
		擁壁工	式	1	442		
		管渠工	m	2,919	93		
		函渠工	m	44	33		
		排水工	m	19,807	551		
		中央分離帯工	m	25,356	267		
		雑工	式	1	741	※側道改良含む	
	橋梁費					12,397	
		100m以上	m	1,781	8,864		
		100m未満	m	501	3,532		
	トンネル費						
		NATM	m				
	シールド	m					
	IC・JCT費						
		IC	箇所				
	JCT	箇所					
	舗装費					5,549	
		車道	m2	434,016	5,523		
		歩道	m2	8,675	25		
付帯施設費					347		
	交通管理施設工	式	1	347			
	遮音壁	m					
②用地及補償費	用地費			m2			
		宅地	m2				
		田畑	m2				
		山林・原野	m2				
		その他	m2				
	補償費	式					
③間接経費			式	1	2,076	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費					24,400		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道4号	春日部古河バイパス	4~6	21.5km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					16,353	
	改良費				2,130	
		土工	m3	124,530	193	
		軟弱地盤改良工	m3	2,817	420	
		法面工	m2	29,184	73	
		擁壁工	式	1	353	
		管渠工	m	1,660	54	
		函渠工	m	8	6	
		排水工	m	9,451	273	
		中央分離帯工	m	18,955	230	
		雑工	式	1	528	※側道改良含む
	橋梁費				9,488	
		100m以上	m	643	6,594	
		100m未満	m	378	2,894	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				4,536	
		車道	m2	348,480	4,529	
		歩道	m2	2,397	7	
	付帯施設費				199	
		交通管理施設工	式	1	199	
		遮音壁	m			
②用地及補償費						
	用地費		m2			
		宅地	m2			
		田畑	m2			
		山林・原野	m2			
		その他	m2			
	補償費		式			
③間接経費			式	1	1,247	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					17,600	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道4号	春日部古河バイパス (埼玉県区間)	4	10.3km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持費	km	10.3	24	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	114	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			138	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道4号	春日部古河バイパス (茨城県区間)	4~6	11.2km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持費	km	11.2	30	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	242	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			272	

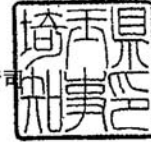
【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

道政第 97 号
平成24年11月13日

国土交通省
関東地方整備局長 様

埼玉県知事 上田 清司



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

平成24年11月5日付け国関整企画第198号の意見照会について、別紙のとおり回答します。

担当：県土整備部道路政策課



(再評価)

【地すべり対策事業】

事業名	「対応方針(原案)」案 ※	埼玉県知事の意見
鎌原地区直轄地すべり対策事業	継続	御意見提出済

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案 ※	埼玉県知事の意見
一般国道4号 春日部古河バイパス	継続	一般国道4号春日部古河バイパスは災害時における緊急輸送道路のネットワーク強化はもとより、圏央道へのアクセス向上が図られる大変重要な道路であります。 引き続き、コストの縮減に十分留意しながら早期完成をお願いします。
一般国道17号 上尾道路	継続	御意見提出済

※貴県の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。



道 建 第 256 号
平成24年11月15日

国土交通省
関東地方整備局長 殿

茨 城 県 知 事



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
の作成に係る意見照会について（回答）

平成24年11月5日付け国関整企画第198号により意見照会のあったこと
について、別紙のとおり回答いたします。



(再評価)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案 ※	茨城県知事の意見
利根川総合水系環境整備事業 (霞ヶ浦環境整備)	継続	御意見提出済
利根川総合水系環境整備事業 (常陸川水門)	継続	御意見提出済

【地すべり対策事業】

事業名	「対応方針(原案)」案 ※	茨城県知事の意見
譲原地区直轄地すべり対策事業	継続	御意見提出済

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案 ※	茨城県知事の意見
一般国道4号 春日部古河バイパス	継続	一般国道4号春日部古河バイパスは、首都圏中央連絡自動車道の主要なアクセス道路であり、企業立地による地域産業の活性化や大規模災害時における緊急輸送道路のネットワーク強化に寄与することから、より一層のコスト縮減を図りながら、早期完成に向け事業を推進されたい。

※貴県の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。